

「顔の見える関係」から「手をつなぎ合える関係」をめざして

チームケアを実践する上で、多職種で共有したい知識や情報を+αで発信し合い、学び合える場

# ことう地域チームケア 研究会 + α たより Vol.1

ぶらす あるふあ

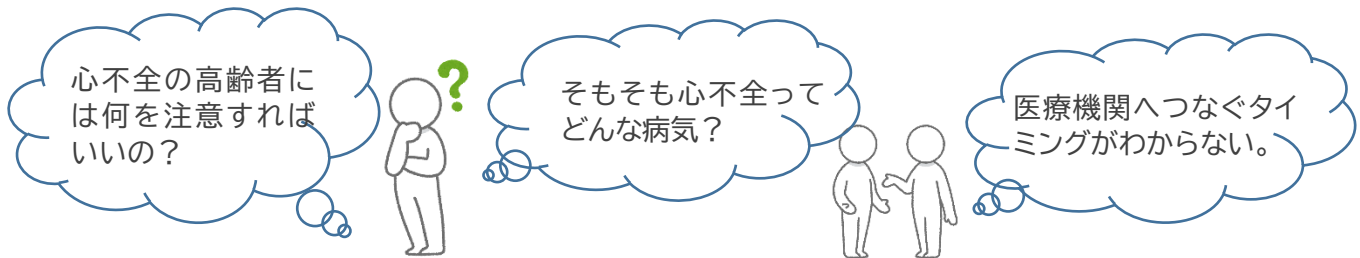
「研究会+α」第1回目は、心不全をテーマに、オンラインで開催しました。

## 『勝手にわかる心不全 ～彦根市立病院の心不全連携～』

講師 高橋 宏輔 氏 (彦根市立病院 循環器内科医師)

【開催日時】 2022年(令和4年)10月13日(木)17:00~18:00

【参加者数】 65名(内訳:医療関係者18名 介護・福祉関係者28名 行政・包括など19名)



地域での療養支援に必要な、「心不全」の勝手(様子や事情)や、「びわこ心不全手帳」について学びました。

- 我が国の死亡原因における循環器病の割合
- 我が国の介護が必要となった主な原因の構成割合
- 心不全とは
- 心不全とそのリスクの進展ステージ
- 心不全患者の再入院の原因
- 訪問介護サービスへの期待
- 「びわこ心不全手帳」の活用



### Take home message

- ◇ 心不全手帳を熟読しましょう。
- ◇ 数年先の未来を予想しよう。
- ◇ 患者情報を共有しよう。

## びわこ心不全手帳



心臓病手帳を使って、あなたのことを知ってもらい、必要なサポートを受けて、できるだけ住み慣れた街で過ごしましょう

# 参加者の声



## ☆講演内容について、印象に残ったこと、感想など

看護師	心不全手帳が全ての患者様の手元に届くと良いと思います。
看護師	心不全手帳について知りたかったのでとても良かったです。医師によって判断基準が異なることもあったので、統一されたものが普及していくと良いと思いました。 まだ心不全手帳を持っている方にお会いしたことがないので、今後お出会った時には活用させていただきます。職場でも心不全療養についての学習の場を設けたいと思います。
看護師	心不全手帳の存在と、いろいろ詳しく載せられているということを知りました
理学療法士	心不全全般のことが講義で聞けたので良かった。
社会福祉士	心不全とはよく耳にする病名であったが、詳細が理解出来ておらず、今回のお話でステージが四つ分かれていることも学べ、今日の資料を確認しながら支援できればと思う。
介護支援専門員	悪くない時にプランニングする必要性。
介護支援専門員	心不全手帳を知らなかった為、今後担当利用者さんが対象となった時に、活用ができるようにしたい。
介護支援専門員	受診が必要となる場合、手帳の中の点数を目安にする事で、本人、家族の理解が得やすくなると思いました。
介護支援専門員	心不全手帳の活用をして訪問時には手帳を見ながら支援を行う。
介護支援専門員	入院をしないように、悪化を防ぐことが大切なこと。
介護支援専門員	心不全が繰り返されないように予防することの大切さについて、今までの知識ではわかりにくかったことが、今回の研修会できちんと理解することができました。
介護支援専門員	療養上の指導や、現状把握について、病院から患者に伝えられる、聴くことはあるが全てではない。わからない情報は知りたいとお話されていたので、お伝えしたいと思った。また、相談もしていきたいと思った。
介護支援専門員	心不全とそのリスクの進展ステージの表がわかりやすかったです。また、心不全手帳の内容がとてもわかり易く書いてあり、患者さんにも読みやすいように工夫されていると感じました。またゆっくり読みたいです。
介護支援専門員	状態の安定した心不全の利用者に、どこまで運動を勧めていってよいか迷っていた。主治医に確認することを前提とするが、フレイル予防のために運動を勧めていきたい。びわこ心不全手帳を資料でいただいたので、活用していきます。
介護職	心不全はだんだん悪くなっていくもので、症状の変化に早く気づけるよう、バイタルや体重の増減、身体のしんどさを口に出されたときは些細なことでも報告し、情報共有して変化に早く気がつけるようにしたいと思いました。びわこ心不全手帳を初めて知り、心不全リスクの人にも手にとれるようどんどん広まってほしいと思いました。
保健師	心不全手帳について初めて知った。細かく丁寧に情報が整理されており市民さんにもっと活用してもらいたいと思う。ACP についてはやっぱり大切だと思った。地域で広まっていき、本人も関わる人とも共有することが大切だと思う。
保健師	心不全手帳の存在自体を初めて知りました。幅広い内容が分かり易く記載しており、心不全の方と家族の安心につながると感じました。地域のケアスタッフもケア内容の理解につながると感じました。ACP シートがあること。
保健師	びわこ心不全手帳が件で作成されたことを初めて知った。またその内容が医療にとどまらず生活の細かい内容まで記載されていることに驚いた。
	心不全手帳に対する日常生活の送り方が明記している手帳があり、市民さんに分かり易いものがあることが良かった。



# 「研究会+α」についてのご意見

様々な患者を診ておられる医師の方からの実際の対応を聞かせていただくことにより分かり易い指導を知ることができるのでこういう研修を希望します。

今回のことう地域チームケア研究会+αの意図が良くわかりました。関係職種が医学的知識を習得するだけでなく連携を手帳を通して図っていくということでこのことで連携が進めば良いと思いましたし、利用者さんにとって大きなメリットになると思います。

医療と介護の繋ぎめの役割を担うものとして、医療上の確認ポイントは知っておきたい。また、他の整形の病気についても研修が行われるとありがたい。

定例の研修会もとても学ぶことが多くあり、有意義な研修にさせていただいていますが、今回の『+α』でとりあげていただいたように、よりピンポイントに対象をしばってご講義いただける研修もとてもうれしい研修でした。

また、このような企画をしてほしいです。独居でも自宅で安心して最期を迎えるためのサービスとか聞きたいです

1時間かつ、短時間で参加しやすくよかった。いつもの8時半までは参加できなかったの。

このようなケアに役立つ+α的な情報が知りたい

今の時間帯で1時間程度であれば、家庭があっても参加しやすいと感じます。

初めて参加させて頂きました。内容も充実していて良かったです。また機会があればよろしくお願いします。

またこのような企画があると良いと思う

次回ありましたら参加したいです

たくさんのご意見をお寄せいただきありがとうございます。不定期ですが、今後も「研究会+α」開催したいと思っております

## 情報を共有しましょう！

患者さん、利用者さんのために

例えば、疾患の理解や制度・しくみに関する事、地域の情報、各専門分野の動きなど、多職種が相互理解を深め、チームケアを実践するために必要となる、様々な分野の知識・情報を関係機関・多職種の皆さんから発信していただきたいと思っています。

「+α」は、定例の「ことう地域チームケア研究会」を開催していない偶数月に、開催時間帯は17時～18時頃、質疑応答を含めて60分以内を考えています。

### 【お問い合わせ】 ことう地域チームケア研究会事務局

- ◆彦根愛知犬上介護保険事業者協議会 TEL:0749-49-2455 FAX:0749-49-2433
- ◆彦根市高齢福祉推進課 TEL:0749-24-0828

\*ホームページ「在宅医療福祉情報の森」⇒「ことう地域チームケア研究会」もご覧ください。